

かわ



Vol.231 2016.10.1

Contents

わがまちの川…………… P1 ~ P2

◎第 31 回 郡河川町

河川功勞者表彰…………… P3

災害査定現場研修…………… P4

特集 伊良原ダムの紹介…………… P5 ~ P6

県民参加による河川美化活動…………… P7

「ぶくおが水せり自慢!」の開催案内…………… P8

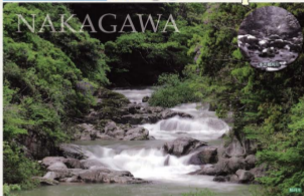
ぶくおかの身近な川と魚を知ろう !! P9 ~ P10

【番外編】まるで、有明海? トフレサップ湖の漁師と魚たち

水辺の花園鑑賞/協会からのお知らせ

わがまちの かわ

那珂川町



■ 那珂川町の概要と河川 『那珂川』は生まれ変わります！

町名の由来である那珂川は、その源を春嶽山に湧し、春嶽ダム、五ヶ山ダム(平成29年度完成予定)、南畑ダムを結ぶして町の中央を南北に貫流、福岡市の歓楽街「中洲」を形成し舞多崎に往く延長35kmの二級河川です。

住民にとっては、飲み水や田畑の用水などの水源としてだけでなく、河川敷の散歩や中ノ島公園など親水公園での水遊びなど、憩いの場として親しまれています。

また、多様な生物の生息空間としても、日頃は適度な水量を保ち流れている「かわ」です。

一方、ひとたび集中豪雨に見舞われると、氾濫し水害をもたらしたことがあります。特に平成21年7月末の中国・九州北部豪雨で発生した床上浸水や農作物等への被害は、住民にとって苦い経験でした。

このことが契機となり、住民の防災意識が高まり地域毎の自主防災組織の立ち上げや防災無線の整備など、災害に強い町づくりに取り組んでいます。

また、平成22年度から5ヵ年事業となる那珂川床上浸水対策特別緊急事業により、河道整備や橋梁の架け替え、取水堰の改良などが実施され、五ヶ山ダムの整備効果と併せて平成21年7月豪雨と同規模の雨でも被害は大幅に軽減される、より安全な川に生まれ変わろうとしています。

今年度(令和6年)を迎える那珂川町は、平成27年の国勢調査で5万人(速報値)を突破し、平成30年10月市制施行を目指し、自治体としても川としても、住民が安心して暮らしていくことができる、緑豊かな『那珂川』に生まれ変わろうとしています。

「那珂川町ならではの！」



本町唯一の駅である川井多摩駅は、全国で唯一となる新幹線の田舎列車を利用した特快駅です。行先30円で新幹線に乗って川井多摩駅まで！

夏は時間差でなければ福岡の中心部から車で30分程度の都心に近い町であつながら、地味になればホタルの光の心を感じることができます。

かわ「那珂川」を下りながら



五ヶ山ダム (平成30年4月供用開始予定) 周辺整備



平成30年4月の供用開始に向けて建設工事が進む「五ヶ山ダム」完成すれば、発電ダム・養魚ダムに続き那珂川町で3つ目のダムとなり、国内最大級のダムとなります。また、ダム周辺では公園やオートキャンプ場、農業施設などの整備が進んでおり、今後那珂川町ののみならず福岡県の観光資源としても注目を集めています。



筑紫
耶馬溪

那珂川の上流部、筑紫耶馬溪の奥から耶馬ダムに至るまでの渓谷を約15kmとありますが、筑紫耶馬溪という名で知られています。その中に、美園や林園などを整備した遊園地があり、秋の紅葉シーズンには水がが色づき、人々を楽しませてくれます。また、夏の間は水遊びや涼しさを求める多くの人でにぎわうなど、四季を通じて人々が多く訪れています。



中ノ島
公園

那珂川の上流部で、自然にできた中洲をその基盤とした公園が中ノ島公園です。園内には、かわせみの里(生物産物売場)や那珂川(公園管理センター)があり、夏から秋にかけて水遊びや紅葉狩りなど多くの人が利用されています。隣接地には、筑紫国史跡記念物のヤマトを、オガタマノなど旧来でおおむねのた日吉の社があり、裏は遊園地として町内外から多くの人が訪れにぎわっています。



一の井堰
(いちのいづき)

日本書紀に書かれていた裂田溝(さくたのうなで)に水を流すために築かれた井堰です。流石の流石にあって甲子に堰が壊れ、長さが約150mと大規模であり、筑紫国最大の大井堰といわれています。壊滅も必要などにあまわてきましたが、その堰に修理したお返し大切にされてきた井堰です。



裂田溝
(さくたのうなで)

日本書紀に開削の記載があり、約1,300年以上の歴史を持つ日本唯一の堤防の古代人工水路です。優れた土木技術により造られ、農業などの稼働や多くの魚が生息する場所となっています。周辺は文化財散策ルートとなっており、多くの人がウォーキングを楽しんでいます。

河川功労者表彰

河川の維持管理に多大な貢献をされた皆様に対して、7月26日の河川協会通常総会の席上で表彰を行いました。

河川功労者とは、河川の機能保全、改善のために力を尽くし、その功績が顕著な個人並びに団体を各市町村からの推薦によって決定しています。

平成28年度の知事感謝状は3団体、河川協会会長特別賞は1団体、河川協会長表彰は1団体3個人で次のとおりです。

【知事感謝状】

- ◆ **城井川を守る会** 会(際上町)
長年にわたる、城井川の河川美化活動に努めていただいています。
- ◆ **安植川を守る会** 会(上毛町)
長年にわたる、安植川の河川美化活動に努めていただいています。
- ◆ **NPO法人直方川づくりの会** 会(直方市)
長年にわたる、直方市の河川美化活動に努めていただいています。

【河川協会長表彰】

- ◆ **納戸 道** 会(久留米市)
長年にわたる、排水環境の改善員として貢献していただいています。
- ◆ **城島 弘喜** 会(久留米市)
長年にわたる、水門の維持員として貢献していただいています。
- ◆ **宮岡 謙一** 会(久留米市)
長年にわたる、排水環境の改善員として貢献していただいています。
- ◆ **くまもと川クリーンクラブ** 会(北九州市)
長年にわたる、都市河川環境改善の河川美化活動に努めていただいています。

【河川協会 会長特別賞】

- ◆ **直方川づくり交流会** 会(直方市)
長年にわたる、環境保護や水問題に関する河川環境保全活動に取り組み、平成27年には、河川環境教育による次世代の人材育成に於いて、国から賞状と交流人賞状を受賞されています。

おめでとうございます!!

平成28年度福岡県河川協会通常総会



福岡県 平成28年災第1次査定 「災害査定臨場研修」を実施しました！

■ 災害査定とは？

異常な天然現象（大雨、台風、地震等）によって被災した道路・河川・公園などの公共土木施設を復旧するため、県や市町村から国に災害申請を行います。申請の内容（復旧方法や費用）がそれであるのか、国の職員が現地に足を運び、「査定」が行われます。被害の状況や復旧の方法、復旧に必要な費用などを確認し、査定の結果、復旧方法や復旧費用が決まります。

■ 臨場研修の目的は？

災害申請（査定）の経験の少ない自治体職員を対象に研修を実施しており、災害査定官（国土交通省）、立会官（財務省）及び申請者（自治体）による実際の災害査定状況（やりとり）を見学することにより、災害査定への対応力及び技術向上を図ることを目的としています。

臨場研修の概要

- 研修人数… 8名（3市町）
査定箇所… 一般国道 442号（八女市矢部村北矢部地区）
道路災害復旧工事
申請者… 福岡県（八女県土整備事務所）

【当日の流れ】

①事前説明（八女県土整備事務所会議室）

- ・災害復旧事業制度の説明
- ・査定現場の概要説明（被災状況や復旧方法）

②現地査定臨場

- ・災害査定を間近で体験（あくまでも、査定の円滑な進行が最優先。状況に応じて、解説者が査定のポイントを随時解説）

③現地査定終了後に現場で意見交換

- ・ちょっとした疑問は、その日のうちに解決！

④災害査定でのやりとりをフォローアップ

- ・査定終了後、申請者や随行者から査定の内容を聞き取り、現場で聞き取れなかった内容をフォローアップすることで研修の理解度もアップ！



参加者の声

- ・実際に、査定を受ける緊張感を味わえてよかった。
- ・机上で学んできた内容がより現実的に腑に入った。
- ・災害査定の際の雰囲気を感じることができ、とても有意義な研修となりました。
- ・査定を受けることが少ないため、臨場研修はとても勉強になりました。
- ・査定官と申請者のやりとりが聞き取りづらい場面があった。
- ・今後も色々な現場での臨場研修を実施してほしい。



今後も災害申請箇所周辺の自治体職員を対象に研修を開催して行く予定ですので、皆様のご参加をお待ちしています!!

写真：伊良原ダム



01
事業の概要

福岡県が京都府みやこ町の飯川に建設を進めている伊良原ダムについて紹介します。飯川は、福岡県の南東部、大分県との県境に位置する麓ノ尾山(標高979m)にその源を発し、山間部を北流、支川と合流しながら行橋市内を貫流し、周防灘に注ぐ流域面積66.4km²、流路延長31.5kmの二級河川です。伊良原ダムは、以下の3つの目的のために計画された多目的ダムです。

① 洪水の調節

台風や大雨の時、河川の増水による氾濫や浸水等の被害が心配されます。そのため、ダムには流れ込む水を一時的に貯めて、安全な水量だけを下流に流す「洪水調節機能」が求められます。伊良原ダムは、大雨の時の水を受け止め被害を抑えることができるようになります。

② 水道用水の供給

私たちの暮らしに必要な生活用水を安定的に供給します。田川地区及び家集地区に対し、水道用水として合計 37,000m³/日(0.428m³/s)の取水を可能にします。

③ 川の水量の安定化

農業用水を確保し、農産物などの水不足を極めます。また、豊かで清らかな河川環境を維持することで、河川の動植物の生態系や湧きのある地域の環境を守ります。

ダムの総元は、堤高81.3m、堤体積約42万m³、総貯水容量2,870万m³の重力式コンクリートダムです。重力式コンクリートダムとは、コンクリートで出来たダムのことで、堤体そのものの重さで水圧を支えることができるダムです。建設にはコンクリートを大量に使用し、基礎地盤に適度な強度が必要ですが、数種類あるダムの型式の中では最も頑丈で耐久性も高いため、地震や洪水の多い日本では最も適した型式です。

02
工事の状況

平成18年10月より、ダムの貯水により水没する道路の代替工事に着手し、ダムの完成までに供用開始できるよう工事を進めています。

ダム本体建設工事は、大成建設・フジタ・岡本土木特定建設工事共同企業体が施工しています。平成

02

工事の
状況

27年2月よりダムを支える基礎となる硬い岩盤まで掘り下げる基礎掘削を、同年7月よりダム本体コンクリートの打設を開始しました。現在、夜間の打設も行いながら約25万m³を打設しています。(平成28年8月末時点)



【ダム建設地の全景写真：下流より撮影】



【ダム本体工事の状況写真：上流より撮影】

03

環境保全
への
取り組み

伊良原ダム建設事業では、環境影響評価法に基づき、周辺の環境や動植物にどのような影響を及ぼすのかを検討し環境保全措置を実施することで、環境に与える影響を最小限に抑える事業計画とする取り組み(環境アセスメント)を行っています。

工事で伐採された樹木等の植生を回復するため、造成して出来た裸地には地産地の樹木の苗木を植栽しています。過去には、地元の小中学生に協力してもらい、移植地周辺への植樹を行いました。

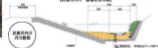
また、伊良原ダムの完成で水没する岩屋河内川については、親水性を持たせるための付替河川の工事を行い、併せて水生生物の生育に適した河川環境の復元・整備を進めています。



【地産の子供たちによる植樹の様子】



【岩屋河内川 整備状況写真】



04

おわりに

今後、橋体工事並びに付替道路工事がますます本格化していきます。ダム本体コンクリートの打設完了後、試験的にダムに水を貯め、安全性を確認したうえで平成29年度の完成を目指しています。引き続き安全施工を心掛け、早期に供用開始できるよう伊良原ダムの建設にまい進していきます。

ダム事業のPR活動として、伊良原ダム建設事務所では現場見学会を行っており、参加者には記念としてダムカードを配付しています。見学を希望される方はホームページより詳細をご確認ください。(今年度の8月末時点での見学者：737名)

福岡県伊良原ダム建設事務所 HP <http://www.pref.fukuoka.jp/soshiki/4805503/>

見学者の皆さんに
伊良原ダムの
ダムカード



【現場見学会の様子①】



【現場見学会の様子②】

県民参加による河川美化活動♪

河川環境に対する県民の関心が高まる中、流域が一体となった県民参加による川づくりや河川愛護活動の一層の活性化が求められています。

このため、福岡県では、平成17年度から「川のネットワーク推進事業」として、年に一度の一斉清掃や、活動報告会・活動冊子等を通じて団体間の情報交換や交流を進めることにより、河川愛護団体（ボランティア団体）等の相互の連携強化や活性化を図っています。

毎年10月を**クリーンリバー推進期間**、第4日曜日を**統一活動日**

平成28年10月23日（日曜日）

とし、県内で河川の一斉清掃を呼びかけ、第12回ふくおか川の大掃除を実施します。

昨年（第11回）は、168団体、36企業、約12,000名の方々にご参加いただきました。

各県土整備事務所においても清掃活動を実施します。参加を希望される方は、管轄の県土整備事務所（用
地課）までお問い合わせください。

● 河川美化活動の様子 ●



福岡県環境
ふくおか川ネットワーク
よみがエル

ふくおか水もり自慢!

「第13回ふくおか水もり自慢! in 福岡」開催のご案内

近年、森や山林の保全活動、河川愛護活動、海岸の保全活動および地域づくりなどを行う様々な団体が、豊かな福岡県の自然を守り伝えていくために活動しています。各々の活動や事業は、地域に根ざした個性的な内容のものもあり、形態も多様化しています。

「ふくおか水もり自慢!」は、福岡県内の「水・「もり(森)」など水環境の保全に関わる活動をしている団体(市民団体、NPO、学校、国、地方自治体)が一堂に会し交流することによって、団体間の交流や行政と市民団体のパート

ナーシップを促進するとともに、他の団体の活動状況や手法を学び、今後の活動の糧とし、お互いの活動を称えあい、福岡県にある豊かな自然と人間が共存していくために必要な考え方や取り組みを一緒に考えていくイベントです。毎回、スライドによる発表や寸劇などにより、各々の活動内容を楽しく、まじりに、わかりやすく報告しています。今年度も下記のとおり開催予定です。多数のご参加をお待ちしております。

平成28年度の開催概要(予定)

開催日時：平成28年12月3日(土)

開催場所：吉賀市生涯学習センター

発表団体の募集：平成28年10月上旬(詳細内容は、福岡県河川課ホームページに掲載)
 (※福岡県河川課ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/4800602/>)



	年度	実施地区		年度	実施地区
第1回	H16年度	福岡大会	第8回	H23年度	筑豊大会
第2回	H17年度	北九州大会	第9回	H24年度	京築大会
第3回	H18年度	筑後大会	第10回	H25年度	筑後大会
第4回	H19年度	筑豊大会	第11回	H26年度	北九州大会
第5回	H20年度	福岡大会	第12回	H27年度	筑豊大会
第6回	H21年度	北九州大会	第13回	H28年度	福岡大会
第7回	H22年度	筑後大会			

【H27年度ふくおか水もり自慢! in 遠賀川の開催状況】



鬼倉 徳雄



トンレサップ湖の水上市ストラン

番外編
その3



まるで

有明海? トンレサップ湖の漁法と魚たち

カ
ンボジア調査記録、第三弾は、第一弾 (No. 34) でも少しお話ししたトンレサップ湖です。雨季と乾季で水位変動が約8mもあり、湖周辺の人々が乾季には陸上で、雨季には水上で生活していると紹介した湖です。トンレサップ湖に流入する小さな河川からクルーズ船が出ていて、観光客もたくさん。我々もそのクルーズ船に乗り、湖に向かって川を下りました。川沿いに並ぶ高床式の住居 (No. 34に写真掲載) を眺めながら…。そして、湖との合流点に達し、湖を一望した私の第一声は「まるで有明海やね」でした。



一面に広がる穏やかな水面、決してきれいとは呼べない高い濁度の水。そして、柵もなく、有明海で「竹羽網 (たけはぜ)」と呼ばれる定置網とほぼ同じものが、湖岸にたくさん並んでいました。唯一の違いは、有明海の水際は大抵が高潮対策のコンクリート護岸、トンレサップ湖の水際は



護岸が全くない。広大な浸水林に覆われておりました。あ、あと、後々、大事な話になってきますので追記しておきますが、有明海は「海」ですので塩水と筑後川などの河川水が混ざった状態 (汽水から海水)、この湖は淡水です。

さて、トンレサップ湖は夏季には水位が上が
さ
り、面積が15,000平方キロを超える巨大な湖になるそうですが、今は乾季で低水位。とはいえ、やはり巨大で2,500平方キロくらい。とても我々が船の上から投網を打ったところで、楽しい魚は決して手に入らないことを容易に想像できるわけですが、大変うれしいことに、カンボジア在任の日本人研究者とカンボジア政府の水産行政職員さんの計らいで、すでに漁業者にアボがとっており、我々は有明海の竹羽網似の定置網で採集された魚から必要なものをサンプリングさせていた

だくことになりました。そして、そこで、「え、それって」という有明海で出会うような魚たちを目にするようになったのです。



「おー、それ、シロダナにめっちゃ似とーおえー」というのが始まりで、「うー、なんかよく分からんタツゾコの仲間やん」、「これなん、サババコノシロ？」などなど、日本ではこれらの魚はすべて海の魚。でも、さすがは、大陸の巨大な淡水湖。日本国内では、あり得ない南越起源の魚たちがたくさん姿を見せたのです。ま



だ、トンレナップ湖の形成史などは調べておりませんが、少なくとも古い時代に湖域の影響を受けたことが少なからず存在することを推察させます。ただ、メコン流域は九州で魚の研究を行う私にとっては見たこともないことばかりが起こりま



すのでー。淡水のサヨリやダツなどが水田地帯の小川でメダカと一緒に泳ぎまわっておりますし…。もちろん、淡水起源のコイ科の魚やナマズの仲間なんかも普通にたくさん漁獲されておりました。確実に言えるのは、島嶼の日本の淡水生態系と大陸の淡水生態系のスケールは全く異なり、この巨大淡水湖の種多様性が格段に高いということでした。



最

後に、トンレナップ湖上に浮かぶ水上レストランにクルーズ船を停泊させて、その船内で捕獲された魚の写真撮影などの作業を行い、その後、レストランのいけすを覗くと、ワニが…。船上レストランでの昼食には捕獲されたシロダナの仲間、雷魚の仲間などとともに、ワニも…。その後、ホテルに戻り…。日本人チームのほぼ全員（なぜだか一人だけ症状が軽い）がダウン。ホテル内で各々が戦場、そして洗浄…。

翌日の調査は全員が体調不良のため、午前中で調査を切り上げ…。その午前中の調査は、観光地の遺跡の入り口付近の小川だったため、観光客の移動ルートと完全に重なってしまいました。当然のように、そこを通過するたくさん外国人観光客は興味津々に我々に話しかけてきました。びびりした体で声を振り絞りながら、時々聞き取れた英語になんとか応対しておりましたが…。東南アジアでの魚類採集調査を頻繁にやっている九大チームの一人は、「いろんな国の魚という単語が聞こえる」と言っておりました。日本人の観光客にも話しかけられ、「がんばってください!」と声をかけられた時は、心が休まりました。日本人観光客の方にとっては、普通に日本国内で生活している最中に、我々のような野外調査で魚を探っている集団に国内の川で出くわすことはなかったでしょうから、大変驚かれた様子でしたが…。現在、ホテルで恐らくウイルス性腸炎と思われる症状と格闘中。いつ、どこで、何を食べて…。たぶん、あれだと思っ…。

おにくる のりき
鬼倉 徳雄 — NORIO ONIKURA —

- 九州大学大学院農学研究院・助教
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類学自然保護委員会・青少年部会委員
- 主な著書/
 - 有明海の生きものたち
 - 千歳・河口湖の生物多様性 (佐藤正典編)
 - 千歳の海に生きる魚たち 有明海の豊かさと危機 (日本魚類学自然保護委員会編)

【水辺の花図鑑】

マンジュシャゲ

ヒガンバナ科ヒガンバナ属

●開花時期 9月

●撮影地 糟屋郡久山町
若狭川流域

●撮影者 KakuN



花茎の先に赤い花をつける。有毒植物とされているが、漢方にも用いられる。花の根く時に葉はなく、花の後に葉が出て、翌春に枯れる。「曼珠沙華」は梵語で「紅色の花」を意味するという。花言葉は「情熱」（あんなの花図鑑より）



協会からのお知らせ

平成28年度 通常総会が開催される

平成28年7月26日(火)、福岡市の博多サンヒルズホテルにおいて来賓、役員、会員等78名の出席のもと福岡県河川協会の通常総会が開催されました。協会規約改正案、平成28年度予算案、要望決議案等について審議が行われ、何れも原案どおり承認されました。

その後、河川功労者の表彰、福岡県の河川関係事業及び河川総合開発事業について概要説明が行われました。



常任会員の挨拶



評決上毛町長による要望決議案の朗読

編集後記

表紙の写真は、糟屋市秋月の本覚寺近くを流れる深溝、古処山から野島川をとおって小石原川、さらに筑後川へ、秋のひととき、静かな空気が流れる。撮影は久留米市伊賀土堂氏(古賀)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県糟屋郡久山町内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:090-433-2026(直通)
FAX:090-443-3099
企画 正光印刷株式会社